

森りょうじ リポート。(67号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■平成25年第4回定例会ダイジェスト

11/28～12/18の会期日程で31議案を審議しました。今議会も先議案（重要度が高く、他の議案よりも優先して審査を行う）や追加議案を扱う議会となりました。このような状況を経験する度に、強い持論でもある「通年議会（国会と同じ運営方法）」を改めて検討していく必要性を感じます。

【ご案内】平成26年第1回定例会：2/20-3/24（予定）

■教育福祉委員会が動く。

委員長職をお預かりしている教育福祉委員会が積極的に動きます。今後の主な活動計画は以下3点です。

- ① 平成27年春開校の小中併設校の定期的な現場視察
- ② 建築年数の古い学校の現場視察と校長ヒアリングにより、施設格差（トイレなど）解消を目指します。
- ③ 民生委員の円滑な活動を妨げている個人情報取り扱い要件を緩和するための対応策（条例作り等）

■最近の陳情・相談(10～12月)※一例です。

- ① 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動のサポート
- ② 障害者就労支援施設の活動支援
- ③ 伝統・文化活動団体のサポート
- ④ 自治会活動の支援・サポート…ほか



★江戸川台西4丁目地先の信号設置が実現しました！

○1976年6月12日流山生まれ（37歳）

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦（次点）

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員（2年間）

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選（二期目）

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味：政治（人と語る・駅頭）・読書・コミュニケーション

体型：身長159.5cm・体重53.5kg

後援会事務所：流山市中野久木559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

平成23年より同じ会派で活動してきた山崎専司議員がご逝去されました。毅然として審議・議論に臨む姿勢、議案に対する公平な視点など、個人的に多くの御教示を頂きました。

また議会運営の重要な局面では、「責任の持てる健全な市政運営」という理念を口にされ、我々を鼓舞しました。故人の思いを確りと継承して参ります。ご冥福をお祈りいたします。

一般質問①

【消費増税の前に、やるべきこと。】

増税まで3ヶ月、自治体の心構えは？

来年4月からの消費増税に際して想定される自治体財政（一般会計・特別会計・水道事業会計）や市内経済（雇用・景況感など）への影響について質問しました。また平成9年の増税時には様々な混乱（地域振興券対応等）があり、過去の教訓を生かした事前対策も求めました。

増税実施後の、自治体への影響は？

財政部長は不確定要素が多い（12月6日時点）と前置きした上で、増税はプラス・マイナスの両面があり大きな歳入増に繋がらない（地方交付税減など）、といった印象をうける答弁内容でした。

また産業部長は現時点で小規模事業者の多くは増税への関心（例えば増税分の価格転嫁等）は低い様子との答弁でした。

資料①：消費税に対する一般論（代表例）

●メリット

- ①公共サービスの質の向上※社会保障等
- ②国民全体で公平な負担※脱税対策
- ③高い財源調達力

●デメリット

- ①増税による景気の悪化※要経済対策
- ②格差が広がる（逆進性）
- ③中小企業に悪影響の可能性

増税実施に伴う、国・地方自治体の責務

その一方で、増税前には多くのテレビ・新聞報道が予想されるため増税への適正な理解、小規模事業者の混乱回避策など冷静な対応を求める情報発信は行政の責務かと思えます。その一つとして相談窓口の早期開設は持論です。増税は負の側面を強く感じさせることから、国民の理解を得る努力が求められそうです。

段階的な増税に対する建設的な対応を

高い財源調達力のある消費税は国民全体でしっかり向き合う必要があります。同時に今後の段階的な増税を見据えて、地方分権社会の中で市独自の経済対策を打ち出せる環境整備として外部機関（金融機関、シンクタンク、商工会議所など）と連携した実体経済調査の実施を要望しました。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

一般質問②

【流山版スポーツ賞の創設、前進へ！】

2020年東京五輪の開催決定は、日本国民に感動と元気を与えました。世界中の方々が来日し、日本の文化や歴史を知っていただく好機であり、6年後に向けて様々な準備を講じていく必要があると思います。そこで今回は、五輪の基本“スポーツ振興策”に関して質しました。

スポーツ振興に適した制度作りを！

スポーツは記録や成績に関心が行きがちですが、選手に限らず陰日向にスポーツを愛し、振興を図っている方もいます。表彰が全てではありませんが、大会での好成績者と同様に、そのような方々を讃える必要性を感じています。ただ、現在の流山市は市の最高表彰である流山市表彰・文化功労章（教育・学術・芸能・スポーツ等）の中に含まれているため、独立したスポーツ賞の設立を求めたところ「設立について議会と協議をしていきたい」との市長答弁がありました。国でもスポーツ基本法制定（2011）、スポーツ庁設置（2015）などの大きなスポーツ振興の潮流があり、市のスポーツ振興にも大きな弾みとなりそうです。

子どもの視点でみる部活動の諸課題

次に小中学校の部活動について質問。当市は「学ぶ子にこたえる、流山市」を掲げ教育に力を入れています。その中でも部活動は学習意欲の向上、責任感、連帯感の涵養に資する機会とされており、非常に意義のある活動です。ただ学校毎の規模格差から一般的な運動部（バレーや卓球など）もない学校もあり、子ども目線に立った課題解決を求めました。

資料⑧：東京五輪2020に向けて

◎流山の“スポーツ振興”の潮流

- ①健康都市宣言（2007年1月）
- ②小・中学校の上位大会での奮闘（昨今）
- ③中学校武道の必修化（2012年4月）
- ④市民総合体育館竣工（2015年）
- ⑤東京五輪開催（2020年）



資料⑩：学ぶ子にこたえるために。

◎中学校ごとに見られる部活動の特色

- 東深井：柔道部
- 北 部：家庭科部（平成25年新設）
科学部・ガーデニング部
- 西初石：新体操・総合文化部
- 南 部：なでしこ部・栽培部
- 南流山：コンピューター部・手芸部



【連絡先】TEL & FAX: 7155-3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp